



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 37 号

2007.2.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつかっています。

も く じ

おしらせ

- 冬季閉館について
- アンケートのお願い

活動報告

- アニマルトラッキング

観察会案内

- スノートレッキング
- 芸北 自然学習発表会
- 雲月山の山焼き

お し ら せ

冬季閉館について

高原の自然館は 11 月 26 日より冬季閉館中です。次回開館は 2007 年 4 月 25 日です。冬季連絡先は北広島町芸北支所 2 階、自然史研究室（電話 0826-35-0115）となります。メールは今まで通りご利用いただけます。

アンケート調査にご協力ください

2007 年度の西中国山地自然史研究会の活動を考えるための資料として、アンケート調査を行っています。会の活動をより良いものにしていくため、同封のアンケートにご協力ください。

活動報告

アニマルトラッキング

開催日時：2007年1月21日（日）10:00

講師：上野吉雄

昨年とは打って変わって積雪の少ない観察会でした。それでも動物の痕跡はいろいろあるものです。足跡はさすがに古くてわかりにくいものが多かったですが、それでも雪が少ないならではの観察ができました。土の付いた足跡から遊歩道の下をくぐって歩き回っていることが観察できました。雪の上ならではのフンの発見の多いこと。テンのフン？キツネのフン？タヌキのフン？と「？」のつくものばかりでしたが、みんなフンを探すの真剣でした。鳥のフンも雪上ならでは発見でしょう。葉が落ちた木にはヤマユガやウスタビガの繭の抜け殻が目につき、クマ棚やクマの爪痕もたくさんありました。この時期は鳥の古巣も確認できて、下を見ながら歩き、時々上を見てと、足跡ばかりではない痕跡発見の一日でした。[や]

冬の観察会に初めて参加しました。他の季節では見るのできない、雪上での動物たちの痕跡に期待をふくらませ、上野先生をはじめ、22名の参加者の皆さんと、自然館前を出発しました。

水口谷方面へ入り、タヌキ・ウサギ・テンの足跡を見つけたり、クモやカワゲラなどの雪上の小さな虫たちに目をこらしたり、フンを見つけその中に入っているものを観察し、どの動物のフンであるかのお話を聞いたりしながら、どンドンと進みました。水口谷から、猿木峠への登山道へ入りそこからは一列になって進みました。水口谷湿原とちがい、コナラなどの高い木々の下を、少し寒さを感じながら歩きました。樹上にクマが残したクマ棚も見られ、スギの皮をはがして食べた跡も見つかりました。鳥では、ヤマガラやコガラがいっしょに飛んでいる混群を見ました。ヤドリギの実が入ったフンを見つけて、鳥の食性とヤドリギの種の散布方法に密接な関係が

あることを聞きました。

今年は雪が大変少なく、ところによっては土が見えていたので、歩きやすかったように感じました。近くで動物たちの痕跡を見て、触れて、時にはにおいを嗅ぎ、どんな動物の残した痕跡なのかを想像するという感覚を使つての観察会は充実したものになりました。[こ]



雪対策万全の足元。白い雪の上にカラフルな色がまぶしい。



ヌルデの実は栄養価が高いので鳥のフンからよく出てくる。



キツネのフン。素手でさわらないようにとの注意があり，観察。白い毛のようなものが見えた。



どんな痕跡でも見逃さずにじっくりと観察する。



巣立ち後のクロツグミの巣。コケなどで作られている。

【みなさんの印象に残った物】

「とちの実をひろったこと。」「動物の生活が分かったこと。ひのきの皮をめくって食べる熊の話。」「ふん中にねずみの頭骨があったこと。(2)」「足跡で動物の種を見分ける方法。木のこぶの原因。」「ふんの中の骨と先生の木登り。」「様々な生き物の生活を感じた。」「あんな高い所にクマだなが！！(2)」「食べ残されたカエル。(2)」「天気良く，平素歩けないところを歩け，珍しい物の観察ができて良かった。」「くま棚の多さが印象に残りました。」「上野先生の木登り。」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「泥のついた足あと等，雪が少ない時ならではだと思えます。動物の行動を想像できるのがおもしろいですね。」「フン一つでもいろんな発見があり，楽しかった。地面，樹上の様子からたくさんのが分かってよかった。」「昨年とうってかわって雪が少なかったが，いろいろな生物の痕跡があった。」「いろいろ見ることができて楽しかったです」「足跡についてだけでなく，宿り木のお話や鳥のお話など，広い視点で教えていただいたのが良かったです。」「雪の中でも色々な虫や動物が活動しているのだなあ，と思いました。」「とても勉強になりました。また自分でも歩いてみたいと感じました。」「動物のあとの見つけ方を勉強できました。教えてもらえる所はなかなかないので貴重な体験でした。」「もう少し雪があればよかった。」「見過ごしている自然を学べて良かった。」「久しぶりに雪の上を歩いて楽しかったです。」「虫，動物，ガ等，いろいろな話が聞けて楽しかった。」「フンから得られる情報の多さを改めて感じました。」

観 察 会 案 内

スノートレッキング

開催日時：2007年2月18日(日) 10:00

3月11日(日) 10:00

集合場所：高原の自然館

準備：長靴、弁当、ルーペ、メモ、暖かい飲み物、おやつ等、

(あれば)かんじき・スノーシュー・クロスカントリー用のスキー

定員数：30名

参加費：300円

(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

冬のトレッキングに出かけませんか？大勢で雪の上を歩き、雪の上で暖かい飲み物を飲めば、それだけで楽しいトレッキングになります。他のシーズンにはノイバラが茂っていたり、湿原であるために踏み込めない場所も、雪が降れば安全に歩くことができます。夏よりも1m高い場所を歩けば、また違った発見もあります。寒さ対策だけは、しっかりしてきてください。

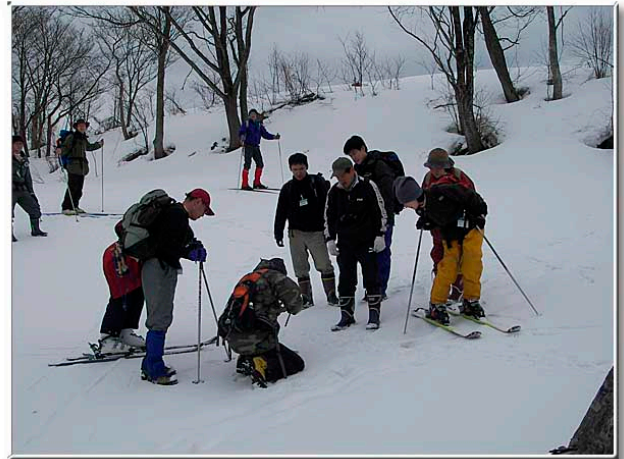
芸北 自然学習発表会

開催日時：2007年3月7日(水) 13:00

集合場所：芸北文化ホール

参加費：無料

芸北エリアにある5つの小学校が、合同の自然学習発表会を行うことになりました。それぞれの学校で子供達が行ってきた自然学習の成果を、子供達自身が発表します。美和のサクラソウ、雲月の山焼き、八幡の湿原再生事業のほか、雄鹿原小、芸北小からは今まで取り上げられなかったテーマについて発表されます。特に、雲月小学校のオペレッタはご来場の際には、ハンカチをお忘れ無く...



雲月山の山焼き

開催日時：2007年4月14日(土) 8:30

集合場所：雲月山駐車場

準備：作業の出来る服装、軍手、

(あれば)草刈り機・レーキなど、

草刈り機の燃料は、こちらで準備します。

参加費：500円

山の景観と生態系を守る山焼きが、今年も行われます。雲月山山焼き実行委員会では、山焼きの作業を手伝っていただけるボランティアを募集しています。作業の内容は防火帯づくり(草刈り)と延焼防止のための監視です。お時間が許すようなら、どうかご参加ください。

※1

参加される方は、必ず事前に申込みをしてください。当日の案内など、詳しい資料を送付いたします。

申込み〆切：3月31日

※2

山焼きは雲月山の生態系保全と景観保存のために行われます。当日は安全確保のため、観光目的の入山はご遠慮ください。

1月も終わりに近づいて、やっとまとまった雪が降りました。ただ、雪質はすでに春の雪で、すぐに溶けてしまいそうです。庭の水路では少しだけ芽を出したカキツバタが黄色くなって枯れています。いつもの年なら雪で覆われているのに、今年は外気にさらされて、気温が下がった時に枯れてしまったのでしょうか。この暖冬は、植物たちに色々な影響を与えそうです。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館 (こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/> staff@shizenkan.info

冬季連絡先 : 0826-35-0115 (自然史研究室)